

事務事業評価表(既存事業)

コード 7-1-5	事務事業名 病後児保育事業	所管部課 児童青少年部子育て支援課
--------------	------------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、乳幼児・児童の健全な育成を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)子育て支援の促進(創2-2) (主要施策)病後児保育室の拡充
	実施内容、実施方法 病気回復期にあって、保育園や幼稚園に通園できない子どもや保護者の都合により育児・看護が困難となったときに、子どもを一時的に預かる。医院に併設した場所で行い、子どもの病状が悪化したときは、その医院の医師が対応する。	根拠法令等 乳幼児健康支援一時預かり事業の実施について 東京都病後児保育事業実施要綱 西東京市病後児保育事業実施要綱
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 病後児保育登録者数	活動指標の考え方(定義) 病後児保育室を利用するために登録した人数
	成果指標名 病後児保育利用者数	成果指標の考え方(定義) 病後児保育室を利用した人数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		6,136	9,273	15,103	17,861
	国庫支出金	千円	1,692			
	都支出金		1,692	4,847	7,222	10,506
	地方債					
	その他					
	一般財源		2,752	4,426	7,881	7,355
	所要人員(B)	人	0.40	0.40	0.30	0.30
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,298	3,309	2,498	2,498
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	9,434	12,582	17,601	20,359
	単位当たりコスト (E)=(D)/(病後児保育利用者数)	千円	52.41	38.83	21.81	
	歳入	千円	3,384	4,847	7,222	
	活動指標	目標値	人			700
実績値		人	188	373	612	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	人			580	1,000
	実績値	人	180	324	807	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	病後児保育利用者から日曜・祝日の休日保育と保育時間の延長。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	26市の半数以上が同様の事業を実施している。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	医療機関の受け入れ体制と財政上の問題があって難しい。

コード 7-1-5	事務事業名 病後児保育事業	所管部課 児童青少年部子育て支援課
--------------	------------------	----------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	毎年登録者・利用者も着実に増えて、病後児保育事業も市民に浸透されつつある。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	母親の社会参加が多くなってきた昨今、子どもの病気等で保育園・幼稚園に預けることができないときに、病後児保育事業によって子どもを預けることができることは、母親の不安を軽減するとともに精神的な安定を図り、活動の場を広げられることは大変意義があるものと思われる。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	基本的には問題はないが、緊急時の子どもの預かりの要請に対し、直ちに対応できるようなシステム体制の検討が必要である。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	基本的には問題はないが、現在の病後児保育室は田無駅(市内中央)近くに1医院、保谷駅近くに1医院が設置されている。将来的には、利用者の利便効率と地域格差解消を図る観点から、東・西・南に1箇所病後児保育室の設置を検討したい。しかしながら、病院の受け入れ体制・財政上の問題もあり、当面は、現在の事業水準を維持しながら事業の充実に努めたい。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	利用者が安心して預けられる事業として定着しつつある。将来的には、市民サービス向上の観点から、日曜日・祝日の利用と平日の時間延長、緊急時の対応等について考える必要があると思われる。しかしながら、病院の受け入れ体制、財政上の難しい問題もあり、今後の検討課題としたい。また、病後児保育の利用料、減免基準、減免者の利用料が適当であるかについても他市の状況も勘案しながら併せて検討したい。

17年度における改善点	現在病後児保育事業については、2医療機関(施設)に委託して実施をしております。病後児保育を利用する場合は、それぞれの病後児保育室に申請し、登録後に利用できる方式になっています。今後は、1施設に申請登録をすれば同時に2施設の利用ができるよう効率的な事業運営を推進していきたいと考えております。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。

総合評価：.

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。